

第10回登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第10回登米市総合教育会議	
開催日時	令和2年1月17日(金)	
	午後1時30分 開会	
	午後2時26分 閉会	
開催場所	登米市役所 3階 第3委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	高橋 富男
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	小野寺 範子
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長兼市長公室長	中津川 源正
	市長公室長補佐	佐藤 貴光
	教育部長	大森 國弘
	教育部次長	永浦 広巳
	教育部次長兼学校教育管理監	及川 幸男
	教育総務課長兼学校再編推進室長	小林 和仁
	学校教育課長	新田 公和
	生き生き学校支援室長	千葉 和幸
	生涯学習課長兼東京オリンピック・パラリンピック推進室長	日野 幸紀
	文化財文化振興室長	小野寺 和伸
書記	教育総務課 課長補佐	佐々木 清晴
議題	令和2年度教育行政の方向性について	

議題・発言	司会	<p>開会（午後１時３０分）</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第１０回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後１時３０分といたします。</p> <p>初めに、市長から開会のご挨拶を申し上げます。</p>
	熊谷市長	<p>（市長挨拶）</p> <p>皆さんこんにちは。大変ご苦労様です。松の内も明け、しっかり気持ちを入れ替えて頑張る時期になったのではないかと思います。今年度は年末年始にかけて気候にも恵まれて、皆様方にはゆっくりとお休みいただいたことと存じます。また、皆様方がご健勝で新年を迎えられましたことお喜びを申し上げますとともに、本年をしっかりとした体制で進めてまいりたいと思います。</p> <p>本日の議題は「令和２年度教育行政の方向性について」ということで、令和２年度の教育基本方針の素案と教育基本方針体系別アクションプランの素案について、ご協議をいただくこととしております。</p> <p>また、教育の振興に関する施策の大綱及び教育振興基本計画の計画期間が令和２年度で終了することから、次期計画について策定、見直しが必要となっております。来年度は、これまでの教育振興の取り組み状況、今後の方向性や課題について、教育委員さん方からご意見をいただきながら、策定してまいりたいと考えております。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
	司会	<p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、議題に沿って会議を進めます。</p> <p>「令和２年度教育行政の方向性について」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p>
	大森教育部長	<p>（令和２年度の教育基本方針の素案と教育基本方針体系別アクションプランの素案の概要を説明）</p>
	永浦教育部次長	<p>（資料１及び資料１－②に基づき説明）</p>
	議長・熊谷市長	<p>事務局から「令和２年度教育行政の方向性」について、基本方針として掲げる５項目は令和２年度も継承したいということ、また、基本方針に基づく主要事業等具体的な取組が見えるよう作成した体系別のアクションプランの素案について説明がありました。</p> <p>委員の皆様から、令和２年度の教育基本方針の素案並びに基本方針体系別アクションプランの素案につきまして、ご意見をお伺いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>初めに畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>

議題・発言	教育委員・ 畠山教育長 職務代理者	<p>昨年度もお話ししましたが、教育の大綱及び教育振興基本計画が平成27年度から令和2年度まで計画期間ということで、来年度は最終年度を迎えますが、私は、教育基本方針そのものは、現行のものを引き継ぐことで良いと考えます。</p> <p>その理由について述べさせていただきますと、登米市の教育基本方針は分野別に分かりやすく5項目になっております。しかも短い文章で表現されていて単純明解であり、幅広い層の市民皆さんが理解できる言葉になっていると思います。</p> <p>また、教育基本法、学校教育法や社会教育法などの根本となる法律に基づいて策定されている、いわゆる不易の内容になっていると思いますし、基本方針の単純な表記を前文の基本理念でしっかりとカバーした説明がされております。</p> <p>他の自治体をみますと前文が無く、基本方針がただ箇条書きになっているところもありますが、登米市では、前文で誰にでも分かりやすく文言となっていますので、来年度もこの基本方針でよろしいかと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>畠山教育長職務代理者からは、令和2年度の教育基本方針については、この案でよろしいとの意見をいただきました。大変ありがとうございました。</p> <p>次に、小野寺委員からお願いします。</p>
	小野寺委員	<p>基本方針については、上位計画の最終年度ですので、このままで良いと思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>小野寺委員も同様の意見でありました。</p> <p>次に、大久保委員からお願いします。</p>
	大久保委員	<p>お二人の委員からお話しがりましたが、私も計画の最終年度であり、この基本方針でよろしいかと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>大久保委員も同様の意見でありました。</p> <p>次に、佐竹委員からお願いします。</p>
	佐竹委員	<p>私も来年度はこの基本方針で良いと思いますが、現状の部分で何点か踏まえていただきたいことをお話しさせていただきます。</p> <p>学力向上について、組織的な見直しをしていくことですが、学力を向上させるためには、家庭学習も大切であると思いますので、その点も考えていただきたいと思います。</p> <p>また、社会教育分野になるかと思いますが、登米市の児童生徒の肥満率が高いということ、学力とスポーツの関係では、スポーツができる子供は学力が高いという研究結果もあるようですので、そのことも何かで触れていただければと思います。</p> <p>それから、来年度は大きく学校再編が進んでいくと思いますが、学校再編により地域も変化していくと考えられます。これまで学校、保護者、地域が三位一体で取り組んできましたが、一層複雑化すると思いますので、その点を考慮していただきたいと思います。</p>

議題・発言	議長・熊谷市長	<p>佐竹委員から、令和2年度の基本方針はこれで良いとの話でありました。学力向上と肥満の問題、学校再編についてのご意見でしたが、私もそのように感じました。</p> <p>次に、須藤委員からお願いします。</p>
	須藤委員	<p>私も計画の最終年度であり、令和2年度もこの基本方針で継続して取り組んでいってほしいと思います。</p> <p>令和3年度からどのように変わるか分かりませんが、その時に配慮してほしい点を挙げさせていただきます。</p> <p>基本方針の小・中学校教育の環境整備の部分ですが、(7)「学習環境」整備の推進と(10)「教育環境」の充実で、学習環境と教育環境の違いが分からないので、文言を統一しても良いのではないかと思います。</p> <p>また、「(8)地域の教育力を生かすための地域や保護者との連携強化」の項目は削除し、「◆学校と家庭・地域が連携した、地域とともにある学校づくりの推進」の項目に整理して記載した方が、短い文章になるのではないかと思います。</p> <p>小・中学校教育の最後に(10)「防災教育」が記載されていますが、台風19号の被害や、今後、さらに大きな災害が起こる可能性が高くなっており、学校での防災教育は、今以上に重要になると思います。子供達の命を守るという点に重きを置き、もっと前面に打ち出すことが必要と考えます。</p> <p>地域との防災の連携という点で、地域では区長さん方が中心となって年1回程度、地域の防災訓練を行っていると思いますが、土・日曜日を登校日にするなど学校とも連携して行うことで、地域と学校、行政が連携した本当の防災教育に発展していくのではないかと思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>須藤委員からは、令和2年度の基本方針については、このままで良いとの意見でありましたが、令和3年度に向けての色々なご要望がございました。</p> <p>特に地域連携を含めた子供さん方への防災教育について、もう少し重要視してほしいとの意見でありました。</p> <p>この間の台風19号は市内に大きな傷跡を残しましたが、阪神淡路大震災から25年、間もなく東日本大震災からも9年になるかと思いますが、毎年のように日本のどこかで大きな災害、特に大雨被害が起きている現状がありますので、大変貴重なご意見をいただいたと思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>委員皆様から一通りご意見をいただきました。次に令和2年度基本方針体系別アクションプランの素案について、委員皆様からご意見をいただきます。</p> <p>島山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	教育委員・島山教育長職務代理者	<p>このアクションプランは、教育重点施策を具体化したものと捉えております。</p> <p>基本方針は不易的なものとお話ししました。アクションプランは、</p>

<p>議題・発言</p>	<p>教育委員・ 畠山教育長 職務代理者</p>	<p>自治体の実態に対応した実践目標でなければならないと考えます。その時代の社会情勢や登米市の実態に対応し加味しなければならないものや、短期間で解決するものとある程度長期に及ぶ内容のものがあるかと思いますが、その際に可能な限り具体的に表記することが大事になると思います。</p> <p>そのような観点から教育重点施策を見させていただきました。</p> <p>「はじめに」という文章である程度の趣旨を記載し、学校教育関係で22項目、社会教育関係も文化財関係を含めて22項目が掲げられておりますが、登米市の教育全体を網羅する内容になっており、非常に良いものができていると思います。</p> <p>これは体系別主要事業の進捗状況等により、評価、反省、総括した結果から作成されているからだだと思います。</p> <p>なお、今年1年を総論的にみますと、教育委員会では、学校再編の積極的な推進、学力向上や生徒指導の改善、教育研究所等の組織改革の検討、学校運営協議会の全学校での導入、高森パークゴルフ場や登米懐古館の開設、2020 東京オリ・パラ支援事業などに職員が一丸となって意欲的に取り組んだ、成果が多い年であったと感じています。</p> <p>各論的には学校教育関係は、具体的な目標表記になっており、実践する場合にも明確で理解しやすいと思います。また、社会教育関係は、団体や個人の自主性、自立性を求めたり、努力を促すためか、「支援する」や「推進する」など具体性に欠ける文言もありますが、ある程度の具体が挙げられていると思います。</p> <p>ただ、内容に問題がある点もあります。細かいところで申し訳ありませんが、幼稚園教育の(7)教職員の研修の充実で、非常勤職員が多い幼稚園教諭の新任職員研修会について、体系別主要事業の進捗状況をみると、ただ市内の施設巡りを行ったとあります。果たして教育基本方針の幼稚園教育にある「学ぶ土台づくり」に見合った研修であったかどうか、この内容、方法で良かったかどうかを評価、反省をして、来年度では改善してほしいと思いました。</p>
	<p>議長・熊谷 市長</p>	<p>畠山教育長職務代理者から、アクションプランについて総論的なご意見と各論的なご意見をいただきました。特に幼稚園教諭の新任職員研修会については、もう少し別の手法があるのではないかと、中身が物足りないとのことでありました。大変貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>次に小野寺委員からお願いいたします。</p>
	<p>小野寺委員</p>	<p>私は、幼稚園教育の(5)特別支援教育総合推進事業について、小・中学校教育の(6)と同じ事業名となっておりますが、幼稚園教育(5)の「家庭及び関係機関との密接な連携の推進」との表題では、すぐに事業名と結び付きにくいと思うので、「支援が必要な園児の」というような文言を付け加えると分かりやすくなると思います。</p> <p>それから、中学校が悪いのは小学校が悪い、小学校が悪いのは幼稚園が悪いと私がPTAにいた頃はよく言われていました。</p> <p>(仮称)教育支援センターを学力向上のため、教員の資質向上に特化する組織に見直すとしていますが、東京都のホームページによ</p>

議題・発言	小野寺委員	<p>ると幼稚園教育で、「生きる力の基礎を培う」ということで、健康・体力につながるものは「生活習慣・運動」で、豊かな人間性につながるものは「人との関わり」となっています。この2つは登米市にもありますが、3つ目で確かな学力につながるものは、「学びの芽生え」となっており、登米市でも幼稚園教育からの学力向上について何か項目があると良いのではないかと思います。なお、令和3年度から幼・保の子ども園も教育委員会の所管になる計画もあるようなので、是非考えていただきたいと思います。</p> <p>また、畠山委員からも話がありましたが、幼稚園教諭の資質が向上しないことには、子供達の学力向上につながらないので、幼稚園の職員研修は新任職員だけでなく、幼稚園の先生全員を対象に行ってほしいと思います。</p> <p>それから、スポーツ活動支援については、市のPRにもなるので、市が一丸となってオリンピック支援を進めてほしいと思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>幼稚園教育について、小野寺委員からお話がありました。東京都での事業のあり方などについてご説明いただきました。ありがとうございました。</p> <p>次に大久保委員からお願いいたします。</p>
	大久保委員	<p>今回の体系別アクションプランについては、教育基本方針に沿ってほとんど網羅されていますので賛成です。しかし、文言整理として、小・中学校教育の(3)健康でたくましい児童・生徒を育成するための学校体育、保健安全教育の充実については、事業が学校給食センター管理運営事業となっており、「学校体育」とは馴染まないため、その文言を削除していいのではないかという点と、文化・芸術を創造するための環境の整備の(1)文化・芸術の鑑賞機会の充実について、青少年劇場小公演が2会場、巡回小劇場も1会場と減ることから「充実」よりも「提供」の文言が良いのではないかと思います。</p> <p>それから、体系別主要事業の進捗状況を見ますと、老朽化した社会教育施設等が多く、要望どおりに修繕が追いついていないと聞いておりますので、これについては、計画的な整備を進めていく必要があると思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>文言整理については、早速検討したいと思います。</p> <p>また、施設修繕について話がありましたが、教育施設については老朽化している施設が多いため、順次優先順位をつけ、財源を調整しながら、特に児童生徒の皆さんには不便をかけないような形で整備してまいりたいと思います。</p> <p>次に佐竹委員からお願いいたします。</p>
	佐竹委員	<p>体系別主要事業の進捗状況について感じた点をお話ししたいと思います。</p> <p>小学校教育について、これから外国語教育が進んでいくと思いますが、国語の学力とのバランスを考えた教育を進めてほしいと思います。</p> <p>また、幼稚園教育について他の委員さん方からも意見が出ていま</p>

議題・発言	佐竹委員	<p>すが、日本の道徳教育は「何々しなさい」と義務を教える内容が強い傾向にあると思っております。それよりも、小さい頃から自分の意見が言えることであるとか、人生観の知識を養えるような道徳教育が必要であると思えます。そうすることで、いじめや不登校の減少につながると思えます。</p> <p>それから親やPTAの現状をみても、いじめ・不登校だけではなく、親からの虐待の実態把握や、その対応策について考えていかななくてはいけないと感じています。</p> <p>最後に施設整備については、図書館の建設が保護者から多く話が出ますので、早急に整備をお願いしたいと思えます。</p>
	議長・熊谷市長	<p>ありがとうございました。小学校の外国語教育が進められますが、日本語の学力が身につけていなければ、外国語もなかなか理解できないということについて、確かに私も個人的にそう思います。文科省においてもそういう考え方はあるかと思えますが、制度上まだ充実していないのではないかと思います。</p> <p>それから、図書館整備については計画していますが、どのような形で、どのような財源をもって整備するかを協議しているところでありますので、早急に検討してまいります。</p> <p>次に須藤委員からお願いいたします。</p>
	須藤委員	<p>幼稚園教育については、新任教諭だけではなく、認定こども園の保育士や採用後のベテランの教諭を含めた研修で力を伸ばしていく必要があると思えます。小中学校でも見本の授業をするのは、30歳、40歳のベテランの教諭が提供していますので、良い授業を若い先生に見せるというような研修を幼稚園と認定こども園が連携するとともに、教育委員会が支援し充実させていく必要があると思えます。</p> <p>小中学校教育については、エアコン設置、英語教育のALT増員、学校再編の推進と子供達の教育環境が整備されることは大変ありがたいし、担当者に感謝しております。</p> <p>それから、この間、校長先生から話がありましたが、去年の夏は、プールサイドや水温が異常に高く、プール使用が予定期間の半分以上できなかったとのことでした。水をプールサイドに撒く、加水をする、テントを張る、使用時間を早めるなど各学校の環境に対応した工夫と努力が求められると思えます。</p> <p>社会教育については、登米市の規模・人口からすると、社会施設の数が多すぎると思えます。利用状況を調べたり、市民の要望を聞きながら、大胆に整理統合をしなければ、登米市の健全な運営はできないと考えます。</p> <p>また、市民から意見を聴くということで、様々な委員会や審議会が設けられていますが、例えば、スポーツ審議会委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員などで、二重に話し合われている場合もあるかも知れないと思えます。各種審議会、委員会等の目的や開催時期等の検討を行い、整理統合をしていく必要があると考えます。</p> <p>文化財については、米川の水かぶりの世界文化遺産の登録や登米懐古館のオープン等、登米市の文化財をアピールできたことは良か</p>

議題・発言	須藤委員	<p>ったと思います。ただ、文化財保護の担当職員だけでなく、文化財やそのほかの市内施設について、担当課の職員でなくてもある程度説明や理解できるような研修も必要ではないかと思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>須藤委員からは、認定こども園の研修の充実が必要でないかということ、エアコン設置、プール使用についての意見でありました。</p> <p>ここ最近、確かに夏が高温になってきており、エアコンは設置しましたが、プールの使用については、検討させていただきたいと思います。</p> <p>それから、お話にありましたように市には様々な社会教育施設がありますが、合併して9つの町の施設がそのまま引き継がれております。合併してまもなく15年が経過しますが、当時考えていましたスケールメリットが全然活かされていないと感じております。市の方針としては、こうした公共施設を最低25%は減らすという考え方ですが、地域の皆様方の想いもありますので、理解をいただきながら、このまま維持していくことは無理であるということと、地域の皆様の意見を踏まえながら集約していくということを市民の皆様にしかりと説明していきたいと思っております。</p> <p>最後のご意見については、そういう職員の傾向があるかも知れないと思っております。分からなければ分からないで担当につなぐということが必要と思っておりますが、そこで終わってしまうこともありますので、その点はしっかり反省したいと思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、教育長から何かあればお願いします。</p>
	高橋教育長	<p>2020年、オリンピックの開催年と同時に小学校の学習指導要領が変わります。中学校はその翌年に変わりますが、その体制づくりを行っているところです。教育委員さん方が話されたことは、ごもっともだと思ってお聞きいたしました。</p> <p>特に来年度は、学校教育支援体制の見直しということで、(仮称)教育支援センターを中心とした学力向上、ICTの活用、英語教育の支援を行い、適応指導教室では、けやき教室と心のケアハウスを同じ場所に設置したいと考えております。</p> <p>学力向上については、秋田県の教育を学び、加賀野小学校は県の指定校を受けながら学力がレベルアップしていますが、やってみましたら、小学校と中学校では違うことが分かりましたので、一つの中学校を指定校として、「学校に行きたくなる学校づくり」の体制を考えてもらいたいと思っております。学力向上と不登校を生まない方法について、小学校と連携させながら考えていきたいと思っております。</p> <p>これからは子供が主体ということで「教えから学びへ」というタイトルで、「主体的・対話的で深い学び」をテーマとして学習指導要領が変わっていきます。その体制に合わせて進めてまいりたいと考えておりますので、今後もいろいろご意見をいただきたいと思っております。</p>

議題・発言	議長・熊谷市長	委員の皆様からご意見を拝聴させていただきました。 それでは、「令和2年度教育行政の方向性」についての協議は、これでよろしいですか。 (「はい」の声あり)
その他	議長・熊谷市長	それでは、「令和2年度教育行政の方向性について」は、ただいま協議した内容で基本方針と体系別アクションプランを整理し、事務局はその内容について、教育委員会議会で教育委員の皆様にご確認をいただくようお願いいたします。
	議長・熊谷市長	議題についてはこれで終了とし、進行を司会に戻します。
	司会	その他といたしまして、事務局では特にありませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。
	教育委員・畠山教育長職務代理者	この前の教育委員会議会で、令和3年度から教育委員会の組織が若干変わり、生涯学習課の一部が市長部局に、福祉事務所の子育て部門が教育委員会に入ってきたという話をお聞きしました。 令和2年度中に令和3年度の教育基本方針を策定しなければならないですし、教育の大綱の見直しも令和3年4月からの事業開始を見込んで進めていかなければなりませんので、できるだけ早めに組織の見直し案について、説明をいただきたいと思います。
	中津川総務部長	令和3年度からそのような方向性での組織の見直しについて、教育委員の皆様と協議を進めながら、その考え方についてご指導をいただきたいと思っております。 市全体での組織の見直しを考えておりますが、その中での考え方であったり、ねらいを整理しているところで、来週の23日に教育委員会議におきまして、さわりの部分になるかと思っておりますが、お示しをしまして、ご指導をいただきたいと考えております。 畠山委員さんがお話しのように、来年度は今後5年間の計画を策定する大切な時期でありますので、ある程度方向性を早めに共有し、ご指導をいただきながら定めてまいりたいと思います。
	司会	そのほか、何かありますでしょうか。 (「なし」の声あり)
	司会	それでは、以上をもちまして、第10回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。 閉会時間は午後2時26分といたします。 大変お疲れ様でした。 (午後2時26分、閉会)